

三重県の「海岸漂着ごみ」の現状

三重県の海岸線は1,000kmを超える長さがあり、砂浜やリアス式海岸など変化に富んだ美しい景観を有しています。しかし、多くの海岸では、川を經由して海に流れ込んだ流木やプラスチックごみが散乱しており、景観や自然環境だけでなく、漁業活動にも影響を及ぼしています。



使い捨てライター



プラスチック製品



ビン・カン・ペットボトル

海岸でも



流木などの自然ごみに混じって、生活ごみが多量に漂着し、美しい海岸の景観を損ねています。

港でも



漁港などでは、多量の漂流ごみが流れ込むことで出漁できないなどの影響があります。



弁当の容器



漁業用のウキ



流木